

# 第14回

## 台東区子供歴史・文化検定

### 問題用紙（中学生用）

- 解答時間は45分間です。
- この問題用紙は指示があるまで開かないでください。
- 解答は、解答用紙（マークシート）の正解だと思う○の中を正確に塗りつぶしてください。

《 解答用紙（マークシート）記入・マーク上の注意 》

- 1 記入欄・マーク欄以外には何も書かないでください。
- 2 えんぴつで、しっかり濃く塗りつぶしてください。
- 3 間違えた場合は、消しゴムできれいに消してください。

学校名	学年	クラス	名前
中学校	年	組	

台東区教育委員会



(問題は次のページから始まります。)

問1.

1603（慶長8）年に徳川家康が開いたのは、何幕府でしょうか。

- ア. 鎌倉幕府
- イ. 室町幕府
- ウ. 安土幕府
- エ. 江戸幕府

問2.

上野桜木町遺跡では古代（飛鳥・奈良・平安時代）の貝塚からハマグリの殻がたくさん見つかりました。このことから当時の様子として考えられることはどれでしょうか。

- ア. このあたりは海に近く、漁がおこなわれていた。
- イ. 上野の台地にある上野桜木町は隅田川の川底だった。
- ウ. この台地は1000メートル級の山の上だった。
- エ. このあたりにはまだ人が住んでいなかった。

問3.

古墳時代に上野台周辺に住んでいた人は、どのような家に住んでいたでしょうか。

- ア. 竪穴住居
- イ. 長屋
- ウ. 文化住宅
- エ. アパートメントハウス

問4.

次の説明文で間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 台東区内で徳川家康をまつる「東照宮（東照社）」が造営されたのは、上野よりも浅草の浅草寺の方が早かったのですが、浅草のものは焼失後は再建されませんでした。
- イ. 上野の山は桜の花見で毎年にごわいますが、ここが桜の名所となったのは、寛永寺を創建した天海僧正が奈良県の吉野山から山桜を取り寄せたことに始まります。
- ウ. 現在、上野の山の桜は全部ソメイヨシノになってしまいました。残念なことながら他の品種の桜は1本も見ることができません。
- エ. 天海僧正が上野寛永寺周辺に京都や滋賀の名所になった造形物を配したことで、上野は信仰と行楽を兼ねた景勝地となりました。琵琶湖に見立てた不忍池、清水寺に見立てた清水堂などがそれです。

問5.

台東区の江戸時代の様子を説明した文章です。間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 江戸市中が発展し、店舗が密集するような繁華街は火災による被害が恐れられました。その対策として狭い道路(小路)を広げることが行われ、その事業によって広げられた道路をひろこうじ広小路とよみました。
- イ. 現在の「宝くじ」に相当するものを「とみ富くじ」といいましたが、その富興行が幕府から認められた寺院の一つに区内の「ひがしほんがんにじ東本願寺」がありました。
- ウ. 隅田川で花火が初めて打ち上げられたのは、江戸時代のことでした。
- エ. 現在、住所としては表記されませんが、江戸時代後期に「ざるわかまち猿若町」といえば「ざるわかさんざ猿若三座」を中心とした歌舞伎などの芝居町として知られていました。

問6.

1868（慶応4）年5月15日、上野の寛永寺境内で上野戦争が起こり、寛永寺の多くの貴重な建物が焼けてしまいました。この戦争について、正しいものはどれでしょうか。

- ア. 開国の要求に応じない幕府に対して、アメリカの軍艦が東京湾から大砲を撃った。
- イ. 15代将軍徳川慶喜を守ろうと集まった人々（彰義隊）に対して、明治政府は彰義隊を幕府の正規軍とみなして攻撃した。
- ウ. 明治政府が上野の人々に対して公園をつくるために立ち退きを求めたので、住民が反発した。
- エ. 誰と誰が何のために戦ったのかわかっていない。

問7.

明治初めの近代化と共に、江戸は東京へと変わっていきました。1878（明治11）年、それまでの町のあり方が廃止され、東京市の中に15の区ができました。そして、第二次世界大戦を経て、徐々に現在の23区が整っていきます。台東区は、1947（昭和22）年に  が合併して誕生しました。では、 に入る区の正しい組み合わせは、どれでしょうか。

- ア. 上野区と浅草区
- イ. 下谷区と浅草区
- ウ. 谷中区と蔵前区
- エ. 上野区と蔵前区

問8.

1890（明治23）年、浅草に日本の近代化を象徴する塔が建てられました。通称「十二階」と呼ばれたその塔は、高い建物にのぼれるような施設がなかった当時、大変な人気でした。この建物の正式名称は、どれでしょうか。

- ア. 望遠楼
- イ. 青天閣
- ウ. 凌雲閣
- エ. 遠見楼

問9.

明治時代後期になると「ハイカラさん」と呼ばれたスタイルが流行しました。次のうち「ハイカラさん」の条件でないものはどれでしょうか。

- ア. 大きなリボン
- イ. 振袖
- ウ. 袴
- エ. 草鞋

問10.

2016（平成28）年に台東区で告示された「花の心 たいとう宣言」の一節です。□の中に入る言葉はどれでしょうか。

全ての区民が 花を 慈しむ心と

おもてなしの心を育み

心豊かで □まちを目指すことを願

ここに 花の心 たいとう宣言をします

ア. 殺伐とした

イ. 暮らしにくい

ウ. 騒々しい

エ. うるおいのある

問11.

江戸時代の水道について、正しいものはどれでしょうか。

ア. 江戸の町中では、石や木でできた樋（水道管）を地中にうめて、その中に水を流した。

イ. 江戸の住民は誰も水道料金を払わないで済んだ。

ウ. 千川上水は明治時代になるまで使われていた。

エ. 江戸の町には下水道はつくられなかった。

問12.

江戸時代から明治時代にかけて、現在の新聞や雑誌などにあたる大衆向けの印刷物が売られていました。人通りの多い場所で売られ、読売とも呼ばれました。噂話を扱っているということで、違法な摺り物として禁じられていましたが、大衆の求めに応じて出版され続けました。その多くは木版の一枚刷でしたが、名前の由来には、粘土を固めて文字を彫り、瓦のように焼いたものを原版にして摺った摺り物という意味もあります。この摺り物のことを何というのでしょうか。

ア. 新聞

イ. 雑誌

ウ. 瓦版

エ. 官報

問13.

みなさんの通っている学校には、必ずと言っていいほど近くに公園があると思います。これは、学校の近くに遊び場をつくる、という目的ではなく、ある災害が起こったことによって、避難場所を確保する、という意味合いを持ってつくられたものです。今「震災」というと多くの人が2011（平成23）年の東日本大震災を思い浮かべると思いますが、今からちょうど100年前の1923（大正12）年、死者約10万人という史上最悪の地震が関東地方を襲いました。昼時に起こったこの地震の火事によって下町は焼け野原になり、台東区内のほとんどの学校が被害を受けました。この地震の名前は何か。

ア. 宝永の大噴火

イ. 安政の大地震

ウ. 関東大震災

エ. 東京大空襲



問14.

第二次世界大戦中は食料の生産量が減少し、食料が不足したため、政府はある制度をつくりました。この制度はどれでしょうか。

- ア. 配給制度
- イ. 割り当て制度
- ウ. 申し込み制度
- エ. 自給制度

問15.

江戸時代は現在と同じように紙製品のリサイクルが盛んでした。次の中で江戸時代の台東区の紙のリサイクルに当てはまるものはどれでしょうか。

- ア. 紙屑買いが紙屑や古紙を買い集め古紙問屋に売り、そこから再生紙の業者に卸されて再生紙につくり直された。
- イ. 新聞紙と交換にティッシュペーパーが配られた。
- ウ. 江戸の町民は年貢として幕府に古紙を納めた。
- エ. 再生紙はもともと上野周辺でつくられたため、上野紙と呼ばれた。

問16.

花は、古くから人びとの生活の中で愛でられてきましたが、江戸時代になると、平和な時代が続いたこともあり、園芸を趣味とする人も多く現れます。台東区では、さまざまな花に関する市が開かれていました。さて、それでは次の4つのうち、江戸の人々にはあまり知られていなかった花はどれでしょうか。

- ア. 朝顔
- イ. ラベンダー
- ウ. 菊
- エ. 梅

問17.

江戸時代、富士山を<sup>しんこう</sup>信仰し、登山することが流行しました。しかし、当時は富士山に登ることは<sup>ようい</sup>容易ではありませんでした。そのため、と<sup>よ</sup>呼ばれるミニチュアの富士山をつくり、誰でも富士登山を<sup>もぎたいけん</sup>模擬体験できるようにしました。台東区内にも、1828（文政11）年につくられたものが、<sup>おのてるさきじんじや</sup>小野照崎神社に残っています。では、にあてはまる言葉はどれでしょうか。

- ア. 小富士
- イ. 代富士
- ウ. <sup>ふじづか</sup>富士塚
- エ. <sup>ふじおか</sup>富士岡

問18.

江戸にはあるものを<sup>な</sup>鳴らして<sup>じこく</sup>時刻を知らせるシステムがあり、それはと呼ばれていました。に入る言葉はどれでしょうか。

- ア. 時の<sup>かね</sup>鐘
- イ. 時の<sup>たいこ</sup>太鼓
- ウ. 時のサイレン
- エ. 時の<sup>すず</sup>鈴

問19.

江戸が東京になり、工業技術が<sup>はったつ</sup>発達すると、江戸時代以来の<sup>でんとうてき</sup>伝統的なは<sup>へ</sup>減っていききました。に入る言葉はどれでしょうか。

- ア. <sup>ようがししよくにん</sup>洋菓子職人
- イ. ユーチューバー
- ウ. ピアニスト
- エ. 手仕事の職人

問20.

台東区には生活文化財に指定されているもののほかに、伝統工芸品がたくさんつくられています。その一つに東京仏壇ぶつだんがあります。さて、そうした仏壇・仏具ぶつぐを扱う店舗あつかが並ぶのは台東区のどの地域でしょうか。

- ア. 田原町から上野にかけて
- イ. 隅田川沿いの今戸いまとあたり
- ウ. 御徒町おかちまち周辺
- エ. 根岸周辺

問21.

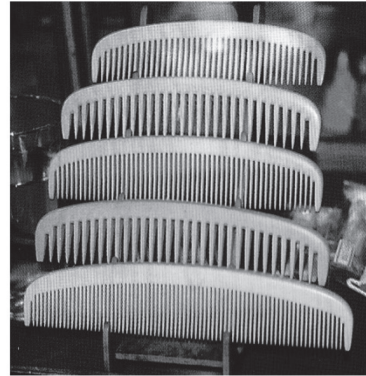
江戸時代の初め、現在の隅田川沿岸えんがんでは焼き物づくりが行われていました。とくに素焼きすやの土器どきは、この地に江戸のあちこちから焼き物職人たちが集まってきたこともあり、焼き物ブランドのひとつとなっていきました。江戸時代から明治期にかけては、日常生活雑器にちじょうせいかつぎから茶道具、火鉢ひばち、植木鉢うえきばち、瓦かわらなどのほか、土人形などさまざまなものがつくられていましたが、その技法を今に伝えるのは区内に一軒いっけんのみとなってしまいました。この焼き物の名前はどれでしょうか。

- ア. 今戸いまと焼
- イ. 駒形こまがた焼
- ウ. 蔵前くらまえ焼
- エ. 浅草焼

問22.

下の写真は、区内在住の職人がつくった工芸品です。この製品の歴史は古く、縄文時代の遺跡からも見つかっています。今では髪の毛をすく（とかす）のによく使われているこの製品の名前は何でしょうか。

- ア. ガラスペン
- イ. 襖引手
- ウ. 房紐
- エ. つけ櫛



問23.

区内には現在でも多くの問屋街があります。かっぱ橋道具街は、主にどのような商品をおもあつかう問屋街でしょうか。

- ア. 宝石や貴金属
- イ. 靴や履物
- ウ. 食器や飲食店用の道具
- エ. 玩具や人形

問24.

明治時代以降の交通の移り変わりについての問題です。正しい順番はどれでしょうか。

- ア. 自動車 → 乗合馬車 → 鉄道馬車 → 路面電車
- イ. 路面電車 → 自動車 → 乗合馬車 → 鉄道馬車
- ウ. 鉄道馬車 → 路面電車 → 自動車 → 乗合馬車
- エ. 乗合馬車 → 鉄道馬車 → 路面電車 → 自動車

問25.

江戸時代、江戸の水上交通が発達した主な理由とは何だったでしょうか。

- ア. 歩くのが大変だったため。
- イ. 一度に荷物をたくさん運ぶため。
- ウ. 道路がなかったため。
- エ. 舟ふねが楽しかったため。

問26.

門前町もんぜんまちとはどんな場所でしょうか。

- ア. 寺の門前で、お祈りいのをするための場所。
- イ. 寺の門前で、勉強けんきゆうをするための場所。
- ウ. 寺の門前で、寺院に参拝さんぱいする人々に宿や休憩きゆうけいの場、飲食などを提供ていきようするための場所。
- エ. 寺の門前で、都市の防衛ぼうえいをするための場所。

問27.

台東区内には「合羽橋かつばし」や「地方橋じかたばし」のように、現在は橋がないのに「橋」という文字がついた地名が各所かくしょにあります。それはなぜでしょうか。正しいものを選びましょう。

- ア. 室町時代むろまちに橋本氏しがこの付近おきを治めていたから。
- イ. 読みが同じ「端はし」の文字が使われていたが、明治時代になってから「橋」の文字が使われるようになった。
- ウ. 昔は今よりも多くの川が流れていて橋がかけられていたが、川がうめ立てられたり地面の下を流れるようになって橋がなくなり、「橋」という文字がついた地名だけが残った。
- エ. なぜそのような地名がついたのかわかっていない。

問28.

江戸時代、人びとは多様な神仏にお願いごとをしました。七福神は、江戸時代に生まれた神仏のセットともいえるものです。七福神とされる7つの神仏は、大黒天、毘沙門天、弁財天、福祿寿、布袋、寿老人、および□□が有名で、時期や場所により弁財天と吉祥天が入れ替わるなど多少流動的ではありますが、このうち日本の神様は□□ひとりだけです。それでは、この七福神のうち□□に入る唯一の日本の神様はどれでしょうか。

- ア. 閻魔
- イ. 不動明王
- ウ. 観音
- エ. 恵比須

問29.

この行事は社殿での神事のあと、火難守護（火の災難から守られる）のお札を頂戴し、社殿の前でそれまで燃えていた炭火の上を健康や防火を祈って、歩いて渡るといふものです。さて、この行事とは何でしょうか。

- ア. 秋葉神社の火渡り神事
- イ. 熊谷稻荷の眷属祭
- ウ. 今戸神社の今戸焼
- エ. 鳥越神社のとんど焼き

問30.

武士の間で盛さかんであった流鏝やぶさめ馬は、一時期途絶とだえていましたが、1983（昭和58）年より観光行事として復活し、毎年4月に隅田公園で行われています。流鏝馬とはあるものに乗ってまと的いを矢で射る行事です。さて、何に乗って行うのでしょうか。

- ア. 牛
- イ. 馬
- ウ. 人力車
- エ. 舟ふね

問31.

江戸時代にさかんさいばいに栽培されるようになった朝顔あさがおですが、台東区で夏に開かれるお祭りで正しいものはどれでしょうか。

- ア. 吉原朝顔祭りよしわら
- イ. 浅草朝顔祭り
- ウ. 上野朝顔祭り
- エ. 入谷朝顔祭りいりや

問32.

年末の風物詩、酉の市は、元は農具の市でしたが、縁起物としてあるものが売られるようになりました。それは、ある動物の手に似ていることから名づけられ、今ではおかめの面や小判などたくさんの飾りがついています。それは、平安時代には武具としても使用されていましたが、竹でつくられたものは、庭の落ち葉などをかき集める道具として使用されたことから、これが転じて福や徳をかき集める縁起物として売られるようになりました。この縁起物は何でしょうか。

- ア. すき
- イ. くわ
- ウ. 熊手くまで
- エ. かま

問33.

江戸時代には今のかつば橋道具街通りを新堀川という川が流れていました。この川は大雨のたびに氾濫し、周辺の人を苦しめました。そこで、雨合羽あまがっぱを売って財ざいを築いた合羽屋喜八は、私財しざいを投げ出して新堀川を広げる工事を行いました。この時、ある生き物が工事を手伝ったという伝説があります。この生き物は妖怪と呼ばれる部類ぶるいに入りますが、人との関わりが深い妖怪として各地に伝説が残っています。水の中ときゅうりが好きなこの妖怪とは何でしょうか。

- ア. てんぐ
- イ. たぬき
- ウ. きつね
- エ. かつば



問34.

下谷神社には、日本画の巨匠である横山大観の描いた、ある想像上の生き物の絵が天井に描かれています。十二支のうちの1つに数えられ、蛇を大きくしたような姿をしているこの生き物は、神社を火事から守っているといわれています。横山大観の描いたこの想像上の生き物の名前は何でしょうか。

ア. ユニコーン

イ. 鳳凰

ウ. 麒麟

エ. 龍

問35.

東京都内には、5つの目の色をした5体の不動尊があり、五色不動として有名です。これは、一説には江戸時代の初め、上野の寛永寺を開いたことで知られる天海僧正が、江戸にあった有名な不動を指定したものだといわれており、人びとは七福神などと同様に、これらを参拝して巡りました。台東区には、このうちのひとつ□□不動があります。□□に入る言葉はどれでしょうか。

ア. 目白

イ. 目黒

ウ. 目緑

エ. 目黄

問36.

下に4人の人物の名前とその業績が述べられています。その解説で間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 中山晋平→台東区の千束小学校に勤務した経験があり、千束小学校の校歌や富士小学校の校歌を作曲した人物である。
- イ. 山田耕筰→国際的にも活躍した作曲家。「赤とんぼ」や「まちぼうけ」、あるいは「黒門小学校第一校歌」を作曲した人物である。
- ウ. 岡倉天心→日本美術の復興運動に活躍し、東京美術学校、日本美術院などの設立に大きくかかわりました。
- エ. 平櫛田中→岡倉天心が指導した日本画家。台東区の名誉区民第1号になった人物。その自宅は記念館として一般公開されています。

問37.

高橋景保が日本地図を贈ったドイツ人の名前で、正しいのはどれでしょうか。

- ア. イーボルト
- イ. キーボルト
- ウ. シーボルト
- エ. チーボルト

問38.

2023（令和5）年に生誕100周年を迎えたこの人物は、昭和時代を代表する作家で、浅草に生まれました。太平洋戦争を経験し、戦後は台東区役所にも勤務しました。作品の多くがテレビ番組や映画にもなり、『鬼平犯科帳』や『剣客商売』などはよく知られ、何より台東区生涯学習センター1階には、この人物の「記念文庫」が設けられています。さて、この人物とは誰でしょうか。

- ア. 島崎藤村
- イ. 久保田万太郎
- ウ. 森鷗外
- エ. 池波正太郎

問39.

江戸時代に岩崎灌園の書いた『武江産物志』には、練馬大根や千住の三つ葉など、野菜の名前とその名産地がのっています。台東区から荒川区にかけてはショウガの名産地がありました。その作物の名前は今でも使われています。さて、何というショウガでしょうか。

- ア. 三ノ輪ショウガ
- イ. 白鬚ショウガ
- ウ. 根岸ショウガ
- エ. 谷中ショウガ

問40.

「泰平の眠りをさます上喜撰（蒸気船）たった四杯（隻）で夜も眠れず」これは1853（嘉永6）年に黒船4隻（四杯）が来た時、上喜撰というお茶になぞらえて読まれた狂歌です。この時に来た黒船の司令官は誰でしょうか。

- ア. ペリー
- イ. ロッシュ
- ウ. パークス
- エ. グローニン

問41.

江戸時代、星の動きを調べることは、暦をつくるためにも大変重要な仕事でした。江戸幕府においてそれを担ったのが、天文方と呼ばれる組織です。1782（天明2）年、現在の浅草橋3丁目に、と呼ばれる施設がつくられ、高橋至時と息子の景保は、ここで暦をつくるための観測を行いました。に入るものは、何でしょうか。

- ア. 高橋天文台
- イ. 浅草月見台
- ウ. 浅草天文台
- エ. 浅草プラネタリウム

問4 2.

この人物は落語という娯楽を庶民にも楽しんでもらうため、初めて下谷神社で寄席を開きました。そこには「寄席発祥之地」という石碑も建っています。この人はもともとは職人で落語は素人でしたが、修行を積んで噺家になったものです。この人物は誰でしょうか。

- ア. 三遊亭圓楽
- イ. 三笑亭可楽
- ウ. 雷門助六
- エ. 林家たこ蔵

問4 3.

1919（大正8）年、下谷（上野）広小路交差点に木製信号機が設置されました。日本で初めての道路上の交通信号機でした。この信号機は柱に取り付けられた「トマレ」「ススメ」の標識板を回転させて使いました。さてこの時に回転させる動力として次のどれを使ったのでしょうか。

- ア. 電気
- イ. 蒸気機関
- ウ. ゼンマイじかけ
- エ. 人が手で回した



問44.

上野公園では毎年春になるとさまざまな種類の桜が花を咲かせ、たくさんの花見客でにぎわいます。その中でも日本で一番多く植えられ、一番有名な桜の名前は、上野の博物館に勤めていた藤野寄命つと ふじの きめいによって名づけられました。この桜は江戸時代末期に江戸近郊まつき きんこうの染井村そめいむらで作り出されたといわれ、当時は正式な名前がなく、吉野桜よしのざくらなどと呼ばれていました。この桜の名前は何でしょうか。

- ア. ソメイヨシノ
- イ. オオシマザクラ
- ウ. ウコン
- エ. アマノガワ

問45.

1873（明治6）年1月、日本に公園がつくられることが決まりました。場所は上野かんえいじけいだい・寛永寺境内、浅草しば・浅草寺境内、芝ぞうじょうじ・増上寺境内、飛鳥山あすかやま、深川ふかがわ・富岡とみおか八幡宮境内はちまんぐうといういずれも徳川幕府ゆかりの地が候補こうほでした。このうち、内国ないこく勸業博覧会かんぎょうはくらんかいが行われたのはどこでしょうか。

- ア. 上野公園
- イ. 浅草公園
- ウ. 芝公園
- エ. 深川公園

問46.

1882（明治15）年に嘉納治五郎<sup>かのうじごろう</sup>は下谷<sup>げいしやう</sup>の永昌寺<sup>えいしやうじ</sup>で講道館<sup>こうどうかん</sup>という名前の道場を開きました。治五郎は江戸時代に盛<sup>さか</sup>んだった武術<sup>ぶじゆつ</sup>を研究して、技術面<sup>ぎじゆつ</sup>と精神面<sup>せいしん</sup>の両方に優<sup>すぐ</sup>れたある武道<sup>ぶきゆう</sup>にまとめ上げ普及させました。この武道は現在、オリンピック種目にもなっています。さて、講道館で教えたこの武道はどれでしょうか。

- ア. 弓道<sup>きゆうどう</sup>
- イ. 柔道<sup>じゆうどう</sup>
- ウ. 剣道<sup>けんどう</sup>
- エ. 忍術<sup>にんじゆつ</sup>

問47.

池之端1丁目にある旧岩崎家住宅<sup>きゆういわさきけじゆうたく</sup>についての説明です。間違っているものはどれでしょうか。

- ア. 土佐藩出身の坂本龍馬<sup>りやうま</sup>により建てられた。
- イ. 洋館と撞球室<sup>どうきゆうしつ</sup>は鹿鳴館<sup>ろくめいかん</sup>を設計したジョサイア・コンドルの設計である。
- ウ. 洋館と撞球室は地下のトンネルでつながっている。
- エ. 洋館には日本の気候に合わせてベランダが設置<sup>せっち</sup>されている。

問48.

この施設は、日本を代表する彫塑家の朝倉文夫がアトリエ兼自宅として使用していた建物を一般に公開しているものです。朝倉文夫は東京美術学校で彫刻を学び、卒業後、谷中にアトリエを構えました。ここで代表作「墓守」や「吊された猫」などの数々の作品をつくりました。建物は国登録有形文化財に登録され、庭園は国の名勝に指定されています。この施設は何という施設でしょうか。

- ア. 書道博物館
- イ. 子規庵
- ウ. 横山大観記念館
- エ. 朝倉彫塑館



問49.

この人物は明治時代の作家です。代表作は『たけくらべ』『にごりえ』などがあります。24歳の若さでこの世を去りました。この作家は誰でしょうか。

- ア. 森鷗外
- イ. 樋口一葉
- ウ. 幸田露伴
- エ. 島崎藤村



問50.

天海僧正は江戸時代初期の1625(寛永2)年に上野に寛永寺を創建しました。  
このときに天海が自費で建てたお堂が今でも残っています。それはどれでしょう  
か。

- ア. 最初は摺鉢山の上に建てられ、元禄時代に現在の地に移築された清水観音堂。
- イ. 明治時代に川越の喜多院から移築した寛永寺の根本中堂。
- ウ. 実業家の渋沢栄一の一家の供養のために建てた渋沢堂。
- エ. 5代将軍徳川綱吉の墓がある常憲院霊廟。

